

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「楽しいロータリーで
つながろう」

高田ロータリー今年の
スローガン

「地域、次世代と共に、
明るく!楽しく!!朗らか!!!に
奉仕を実践しよう」



2019～2020年度

国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー
2560地区ガバナー 大谷 光夫
高田ロータリー会長 高坂 光一
幹事 高橋 正彦

事務局:新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス: takadarc@joetsu.ne.jp
例会場: デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員
加藤 公一 宮川 大樹 藤林 陽三 山田 守
木村 隆

第18回例会 ■ 11月22日(金)

No.18

会長挨拶 ● 高坂 光一

朝陽は元気の源



今日は11月22日、「いい夫婦」の日です。「我が家はどうかしらん?」と心配になりましたが、ちゃんと朝食を作ってくれていたのでもう「まだ大丈夫か」と一安心です。

そんな中、やわらかな朝陽をうけベランダ越しに彩りを変化させる木々や周囲の山々に秋の深まりと冬の気配を感じ、家の周りに集う、雀やヒヨドリたちが元気に羽を伸ばしながら「さあ、一日の始まりだ!」と身支度する姿に、朝陽は人を幸せにする光だなど心安らぎ、ふと2009年に上海郊外へ皆既日食を見に行った時を思い出しました。

その時も、皆既(なんと約6分間!)が終わって、まるで巨人が地の縁からボールをはぐように一斉に陽の光が差し込んできたときの感動は今でも忘れません。私はこれを80倍速の夜明けと称していますが、やはり陽の光は生き物にとってなものにも代えがたい喜びを与えてくれるものなのだと感じました。

2035年9月2日午前10時頃、当地上空で皆既日食が観測されます。間違いなく全世界から大勢の方が訪れ、市内に溢れる人々は一様に笑顔で空を見上げていることを想像するとわくわくします。皆既帯は能登半島から群馬県辺りまでで約2分半楽しめそうです。それまで待ちきれない!という方は2030年6月1日、津軽海峡周辺で金環日食が起こります。お楽しみください。

出席報告

出席率 98.04%

ビジター

ガバナー補佐 椿井琢光君、東野秀和様

メイクアップ

飯塚宏佳君 (11/13 頸北 RC)

高坂光一君・高橋正彦君 (11/23 村上岩船 RC 創立20周年記念式典)

石倉 悟君・飯塚宏佳君 (11/23 地区 RA 第2回地区行事)

お客様スピーチ

ガバナー補佐 椿井琢光君

セレモニー

入会式



西條英夫君（日本郵便(株)稲田郵便局長）

委員会報告

出席・ニコニコBOX委員会

椿井琢光君——今日はクラブ協議会でお世話に

なります。よろしくお願ひ申し上げます。
ロータリー財団委員会——2018-19年度寄付金表彰について

幹事報告

配布物：週報No.16・17、2019-2020年度現況報告書
回覧：ガバナー月信11月号、高田駐屯地広報「妙高」
報告：13:40～クラブ協議会、ホノルル国際大会及び午餐会のご案内、12/6ガバナー公式訪問（新井RCとの合同）

卓話 モーニングステーション



エフエム上越株式会社 アナウンサー 林田 美伸様

この度は例会にお招きいただきまして、大変ありがとうございます。

私が勤務するFMJ上越は地域のコミュニティ放送局で、周波数は76.1MHz。日頃は本町3丁目・雁木通りプラザのスタジオから朝・昼・夜に、それぞれ2、3時間の生放送をお送りしています。私の担当は朝の番組が3コマ。その他、健康情報企画や「移住企画」を担当しています。その移住企画「上越に愛ターン」は今年で放送4年目となりました。5年前の夏頃、安塚に住む友人から「人が雪崩のように山からいなくなる。それを平場の人は知らない」と言われました。その台詞に「ハッ」とし「私に出来る事はなんだろう？」と考えて企画したのが「上越に愛ターン」です。長野の大学で教鞭をとる企画アドバイザーの方から「上越の魅力ある人や施設など、色々な魅力を紹介して」と助言をいただきました。ゲストの方から教えていただいて分かった事は「上越には何でもある」という事です。

驚いたお話し①金融機関にお勤めの転勤族の方「ボクが上越市内で一番好きなのは、山荘京ヶ岳のお風呂から眺める星空」。恥ずかしながら、私は一度も行った事はありません。②「クロイワ、水イイ」と言ってくれたエミリオさん。ご出身の南スペインは雨が少なく、特に夏の降雨は2、3ヵ月に一度。家畜を育てたかったそうですが、草が生えない。柿崎区の黒岩に来たら、雨も雪もドッサリ。おまけに伏流水も。

皆様がお考えになる「いいまち」とは、どんなまちでしょうか。私にとっては気持ちの良い方が住んでいるまちです。財布が入っている鞆をベンチに忘れ、気づいて取りに戻っても、そのまま残っているようなまち。散歩中、見知らぬ中高校生が次々と「おはようございます！」と声をかけてくれるまち。(実際の体験や日常です)そんなこの「上越市」が大好きです。今後も上越の良い面を見つけて、お伝えしてまいります。

ガバナー補佐直前訪問 クラブ協議会

椿井ガバナー補佐ご出席のもと、各委員会委員長より今年度の運営方針及び事業計画について報告するとともに、椿井ガバナー補佐よりそれぞれ講評とアドバイスをいただきました。

